

さいたま市 高齢者等の家族介護者等（ケアラー）に関するアンケート調査について

# さいたま市 高齢者等の家族介護者等（ケアラー）に関する アンケート調査について

※令和4年2月28日時点



# 家族介護者等（ケアラー）に関するアンケート調査について

## 調査目的

何らかのケアを必要とする**高齢の家族等**に対しての**ケアを担っている方々**の実態を把握し、今後の支援検討への活用を目的として、アンケート調査を実施。

## 調査時期

令和3年9月～12月

## 調査対象

配布先	配布箇所数	配布数	備考	回答数
地域包括支援センター	27ヶ所	567封	1包括につき、21封配布	239
介護者サロン	16ヶ所	168封	サロンにより配布数は変動	40
介護者カフェ	2ヶ所	30封	1団体につき、15封配布	22
合計	45ヶ所	765封		301

## 分析方法

■調査票各設問の単純集計及びクロス集計を行い、実態調査結果に関する分析を行った。

■クロス集計は、被介護者の情報が確認できたデータを用いて行った。

\* 割合の算出は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

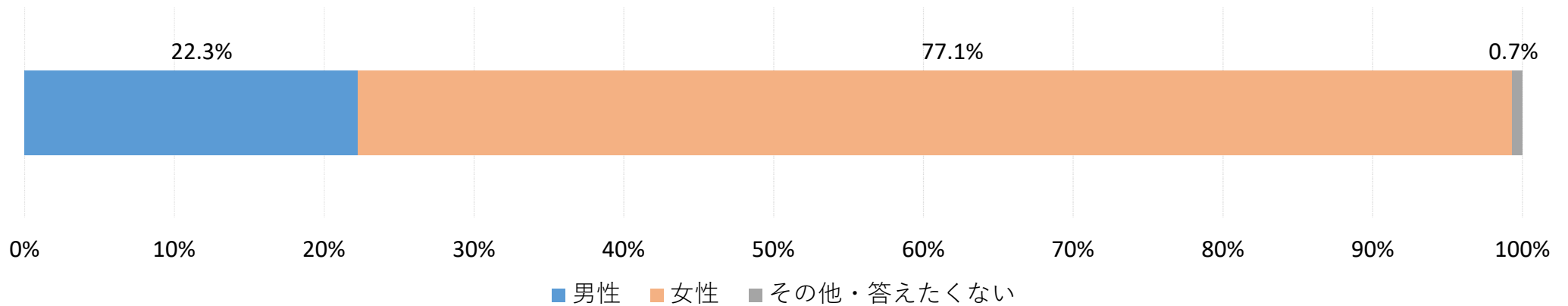
# 1 ケアラー自身について



## ケアラーの性別

ケアラー本人（N=301）の性別の構成割合をみると、「男性」（N=67）が22.3%、「女性」（N=232）が77.1%、「その他・答えたくない」（N=2）が0.3%であった。

### ケアラーの性別

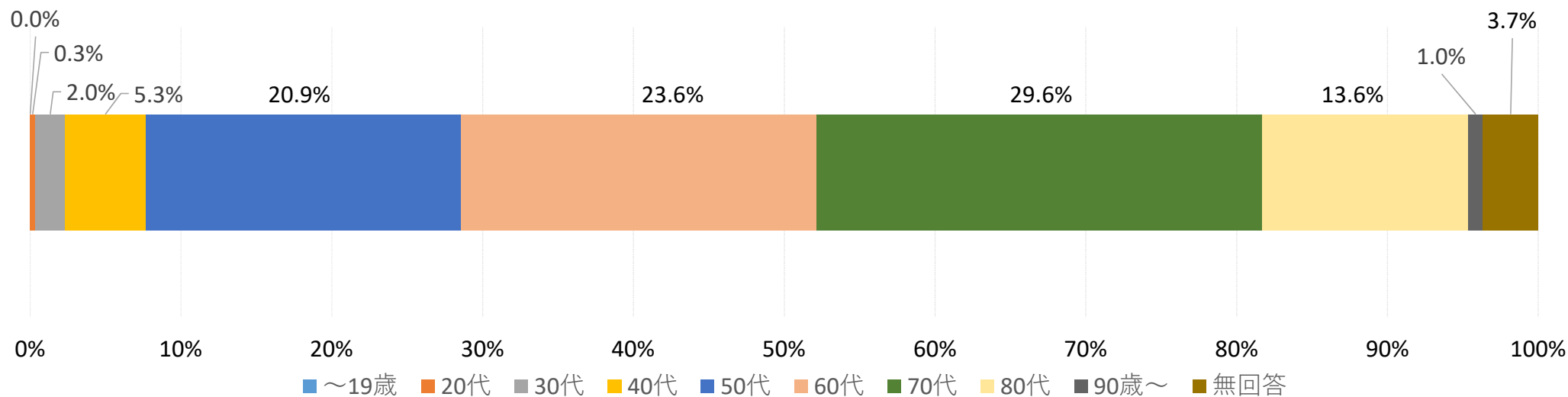


	男性	女性	その他・答えたくない
回答総数 (N=301)	67	232	2
割合 (%)	22.3	77.1	0.7

## ケアラーの年齢

ケアラー（N=301）の年齢の構成をみると、「70代」（N=89）が29.6%で最も高く、次いで「60代」（N=71）が23.6%、「50代」（N=63）が20.9%の順であった。

ケアラーの年齢

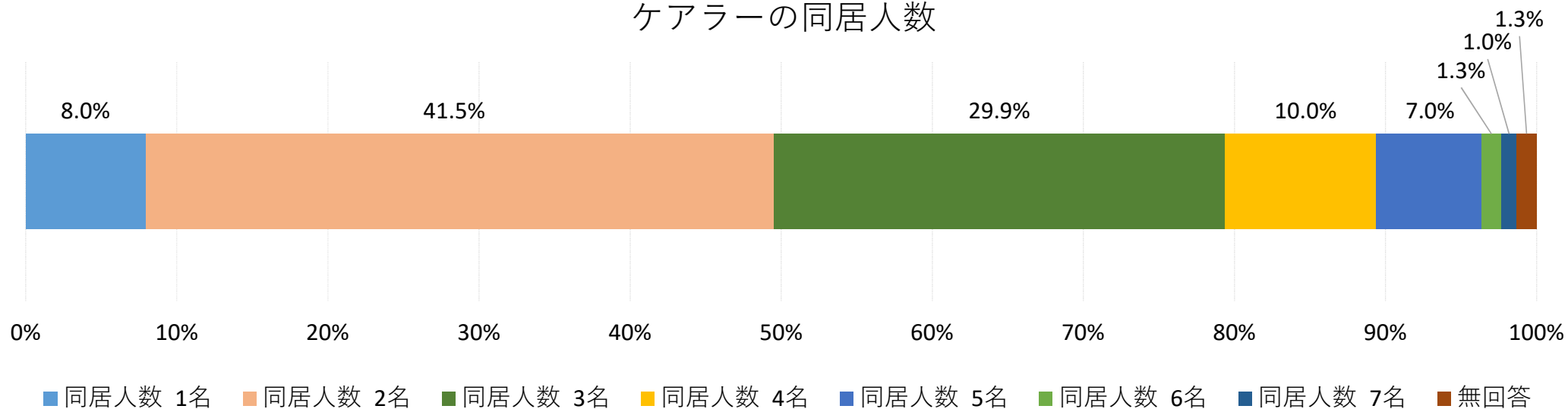


	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳~	無回答
回答総数 (N=301)	0	1	6	16	63	71	89	41	3	11
割合 (%)	0	0.3	2.0	5.3	20.9	23.6	29.6	13.6	1.0	3.7

## ケアラーの同居家族

ケアラー（N=301）の同居人数（自身を含む）の構成割合をみると、「2名」（N=125）が41.5%で最も高く、次いで「3名」（N=90）が29.9%、「4名」（N=30）が10.0%の順であった。

ケアラーの同居人数

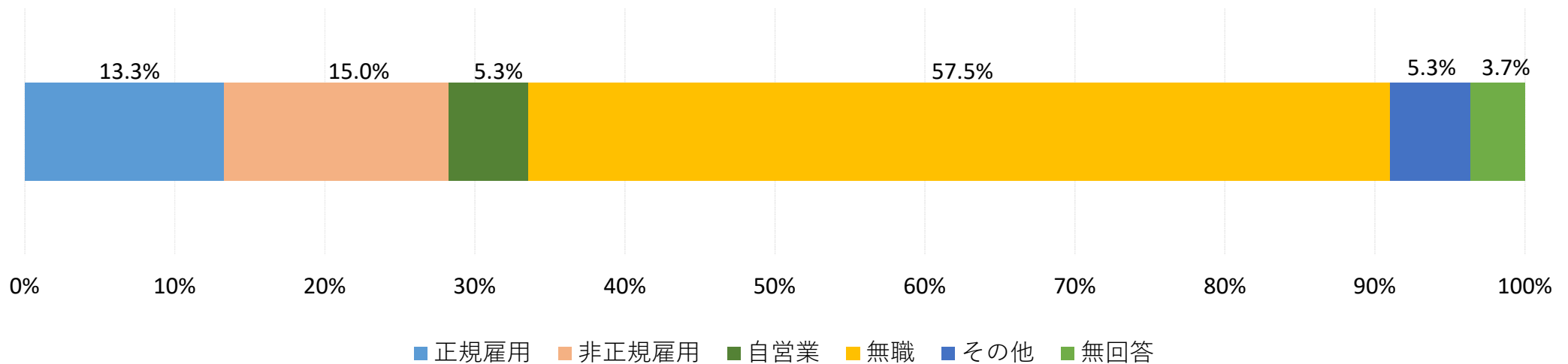


	同居人数_1名	同居人数_2名	同居人数_3名	同居人数_4名	同居人数_5名	同居人数_6名	同居人数_7名	無回答
回答総数 (N=301)	24	125	90	30	21	4	3	4
割合 (%)	8.0	41.5	29.9	10.0	7.0	1.3	1.0	1.3

## ケアラーの就労状況等

ケアラー（N=301）の就労状況等の構成割合をみると、「無職」（N=173）が57.5%で最も高く、次いで「非正規雇用」（N=45）が15.0%、「正規雇用」（N=40）が13.3%の順であった。

### ケアラーの就労状況等



	正規雇用	非正規雇用	自営業	無職	その他	無回答
回答総数 (N=301)	40	45	16	173	16	11
割合 (%)	13.3	15.0	5.3	57.5	5.3	3.7

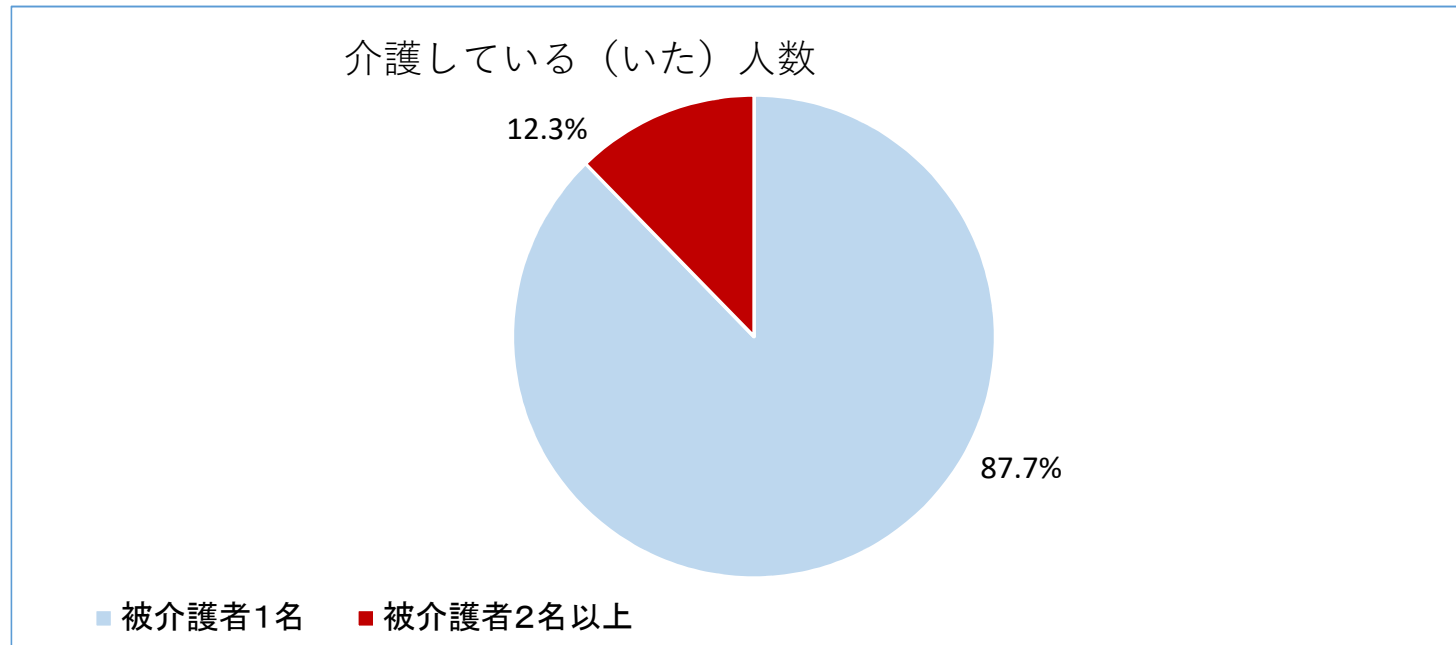
## 2 ケアの状況について





## 被介護者の人数

ケアラー（N=301）の、介護をしている（いた）人数（被介護者人数）の構成割合をみると、1名（N=264）が多く、2名以上（N=37）の方もいた。

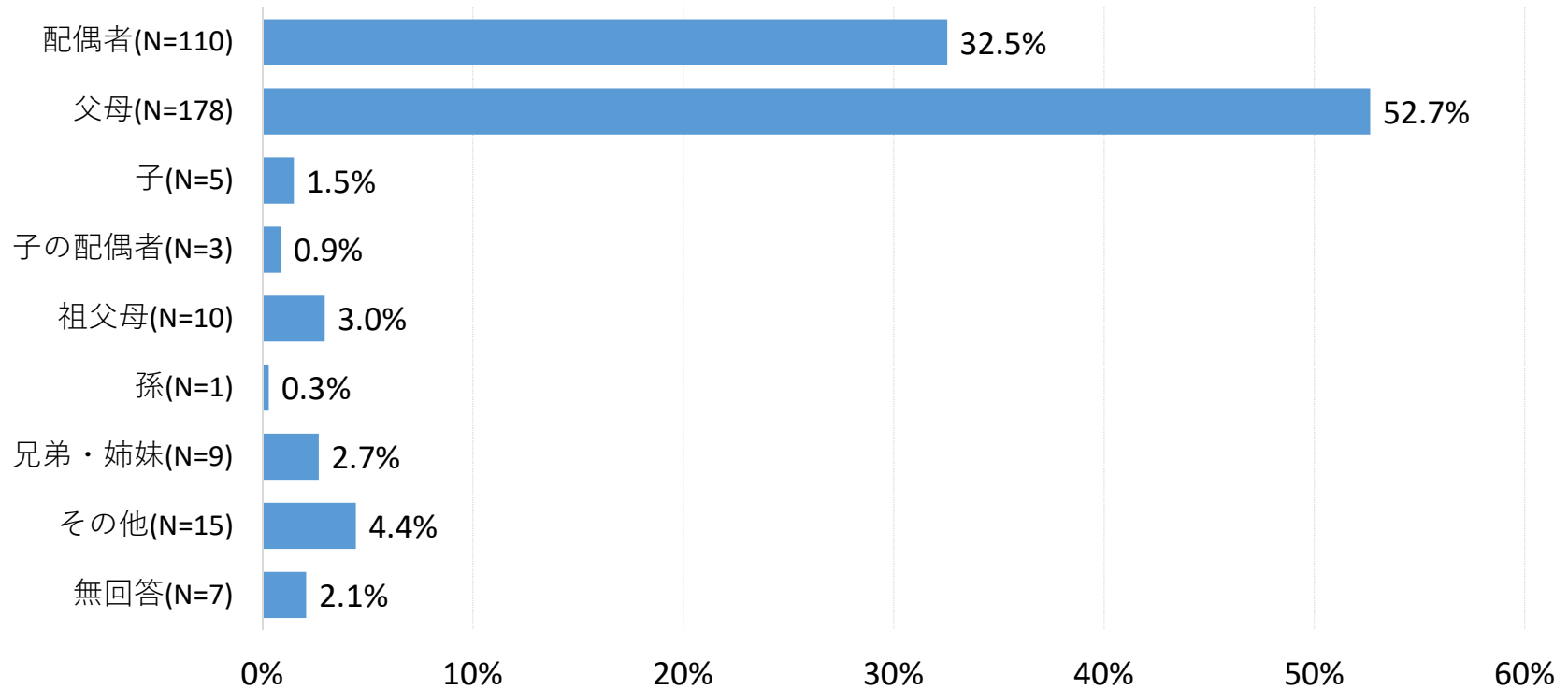


	被介護者1名	被介護者2名以上
回答総数 (N=301)	264	37
割合 (%)	87.7	12.3

## 被介護者の続柄

被介護者（N=338）とケアラーとの続柄について、構成割合をみると、「父・母」（N=178）が52.7%で最も高く、次いで「配偶者」（N=110）が32.5%、「兄弟・姉妹」（N=9）が2.7%の順であった。

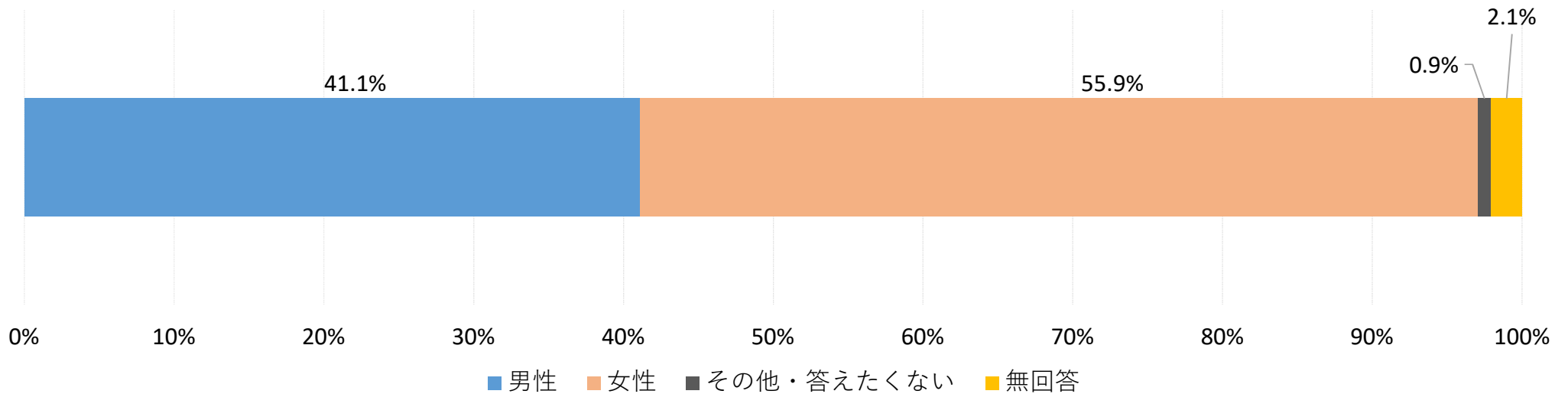
### 被介護者の続柄



## 被介護者の性別

被介護者（N=338）の性別の構成割合をみると、「男性」（N=139）41.1%、「女性」（N=189）55.9%、「その他・答えたくない」（N=3）0.9%、「無回答」（N=7）2.1%であった。

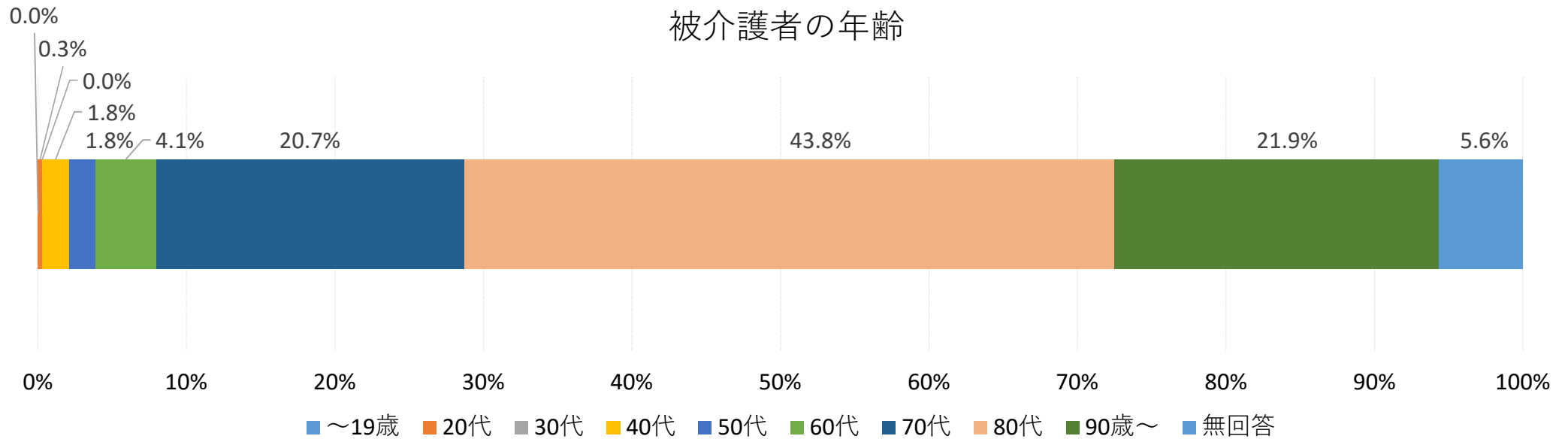
被介護者の性別



	男性	女性	その他・答えたくない	無回答
回答総数 (N=338)	139	189	3	7
割合 (%)	41.1	55.9	0.9	2.1

## 被介護者の年齢

被介護者（N=338）の年齢の構成割合をみると、「80代」（N=148）が43.8%で最も高く、次いで「90代」（N=74）が21.9%、「70代」（N=70）が20.7%の順であった。

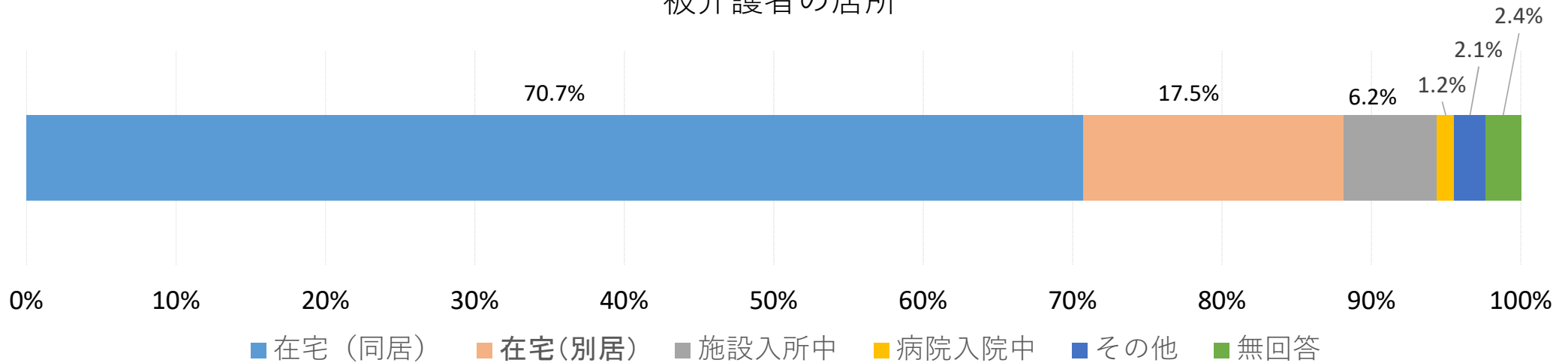


	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳~	無回答
回答総数 (N=338)	0	1	0	6	6	14	70	148	74	19
割合 (%)	0	0.3	0	1.8	1.8	4.1	20.7	43.8	21.9	5.6

## 被介護者の居所

被介護者（N=338）の居所の構成割合をみると、「在宅（同居）」（N=239）が70.7%で最も高く、次いで「在宅（別居）」（N=59）が17.5%、「施設入所中」（N=21）が6.2%の順であった。

被介護者の居所



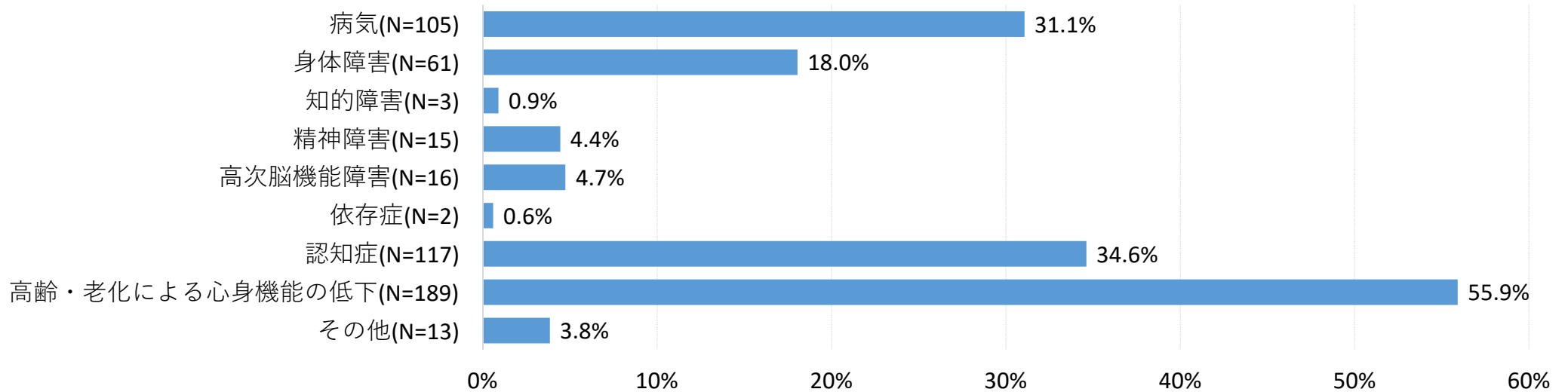
「その他」には、「二世帯住宅」があった。

	在宅（同居）	在宅（別居）	施設入所中	病院入院中	その他	無回答
回答総数（N=338）	239	59	21	4	7	8
割合（%）	70.7	17.5	6.2	1.2	2.1	2.4

## 被介護者の状況

被介護者（N=338）の状況（複数回答可）（N=521）の構成割合をみると、「高齢・老化による心身機能の低下」（N=189）が55.9%で最も高く、次いで「認知症」（N=117）が34.6%、「病気」（N=105）が31.1%の順であった。

被介護者の状況（複数回答可）

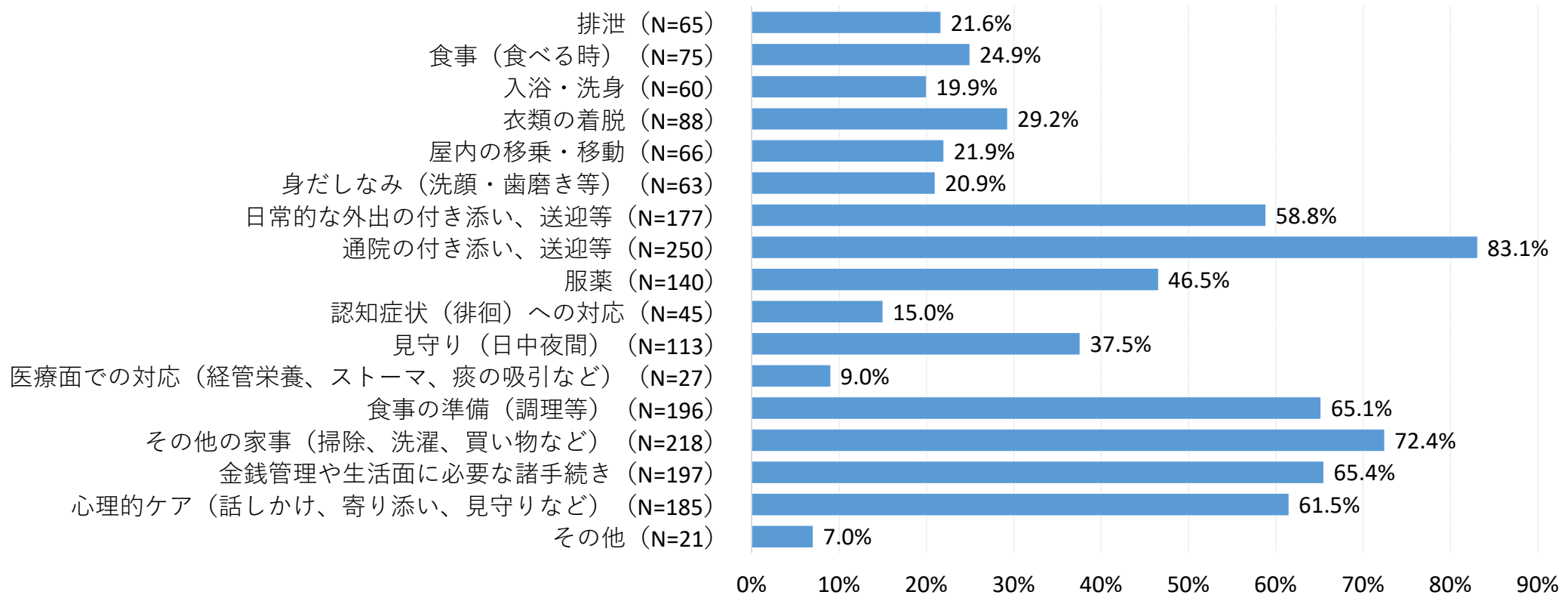


	病気	身体障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	依存症	認知症	高齢・老化による心身機能の低下	その他
回答総数	105	61	3	15	16	2	117	189	13
割合 (%)	31.1	18.0	0.9	4.4	4.7	0.6	34.6	55.9	3.8

## ケアの内容

ケアラー（N=301）から見たケアの内容（N=1,986）について構成割合をみると、「通院の付添い、送迎等」（N=250）が83.1%で最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」（N=218）が72.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（N=197）が65.4%の順であった。

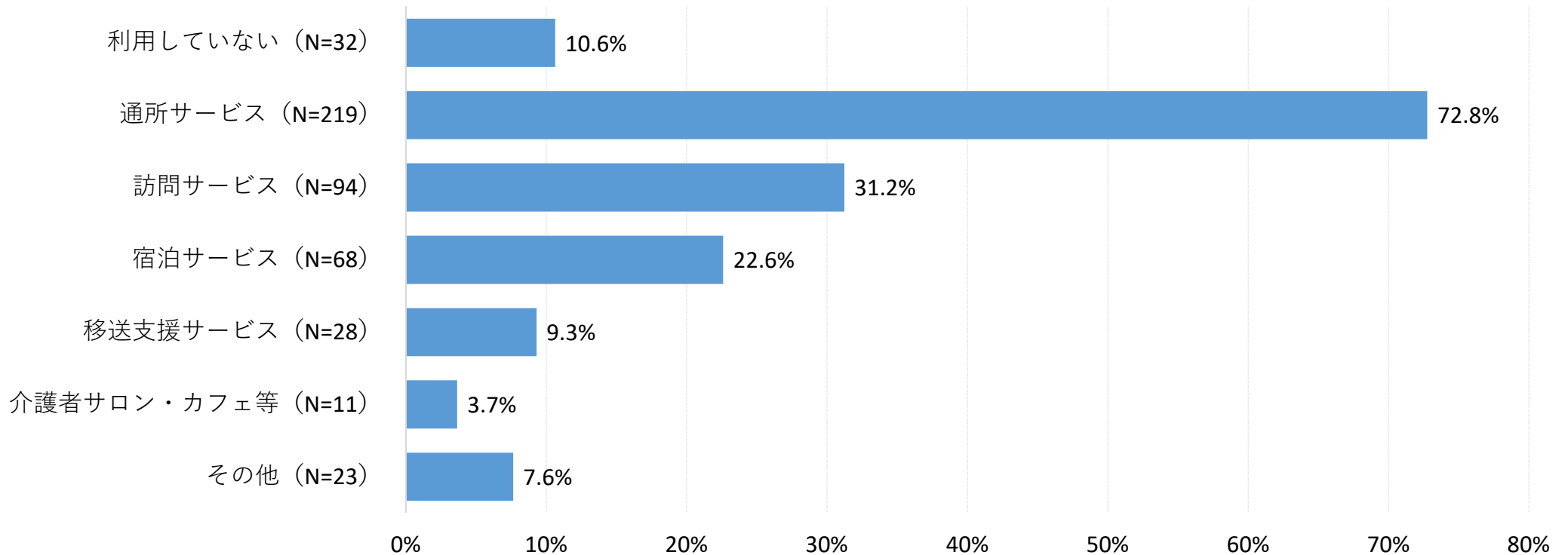
ケアラーが行っているケアの内容（複数回答可）



## 利用している（したことがある）「介護保険サービス」

ケアラー（N=301）から見た利用している（していた）サービス（N=475）について構成割合をみると、「通所サービス」（N=219）が72.8%で最も高く、次いで「訪問サービス」（N=94）が31.2%、「宿泊サービス」（N=68）が22.6%の順であった。

### 利用している（したことがある）「介護保険サービス」（複数回答可）

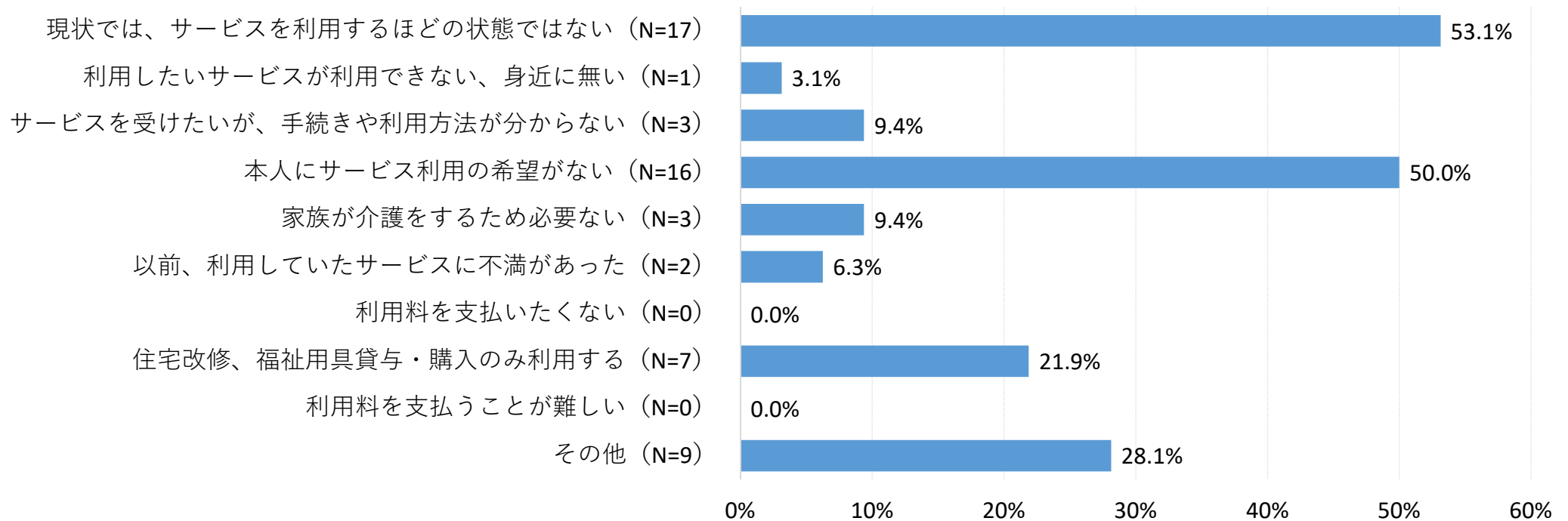




## 「介護保険サービス」を利用していない理由

「介護保険サービス」を利用していない（したことがない）ケアラー（N=32）による理由（複数回答可）（N=58）について構成割合をみると、「サービスを利用するほどの状態ではない」（N=17）が53.1%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」（N=16）が50.0%の順であった。

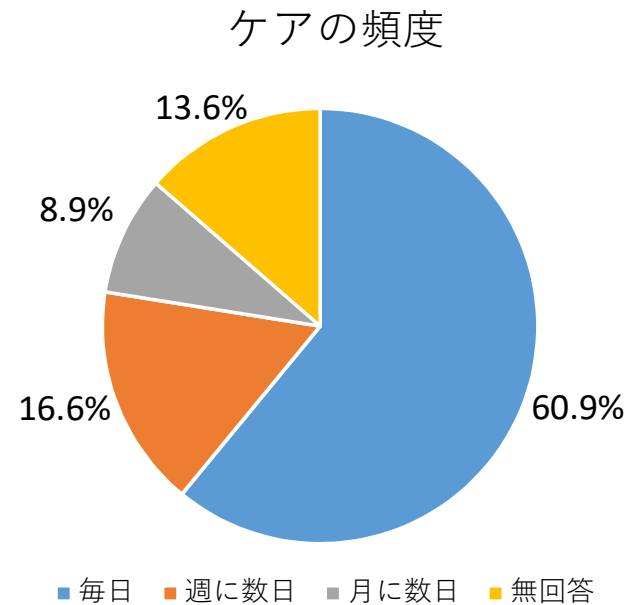
### 「介護保険サービス」を利用していない（したことがない）理由（複数回答可）



「その他」には、「入退院を繰り返していたため」、「申請中」、「申請予定」などがあつた。

## ケアの頻度

被介護者（N=338）に対するケアラーによるケアの頻度の構成割合をみると、「毎日」（N=206）60.9%、「週に数日」（N=56）16.6%、「月に数日」（N=30）8.9%、「無回答」（N=46）13.6%であった。

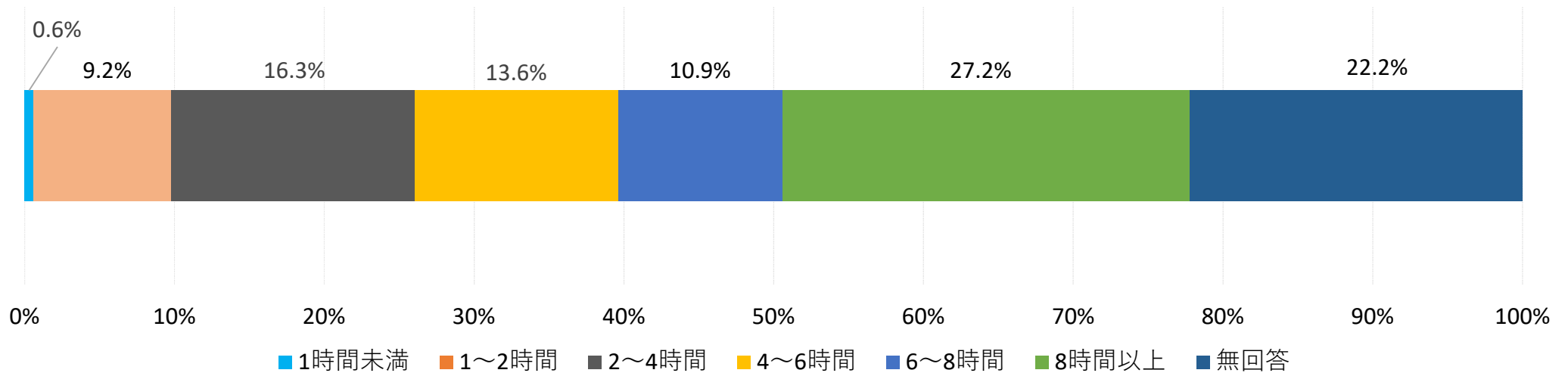


	毎日	週に数日	月に数日	無回答
回答総数 (N=338)	206	56	30	46
割合 (%)	60.9	16.6	8.9	13.6

## 1日のケアにかかる時間

被介護者（N=338）に対するケアラーのケアにかかる時間の構成割合をみると、「8時間以上」（N=92）が27.2%で最も高く、次いで「2時間以上4時間未満」（N=55）が16.3%、「4時間以上6時間未満」（N=46）が13.6%の順であった。

1日のケア時間

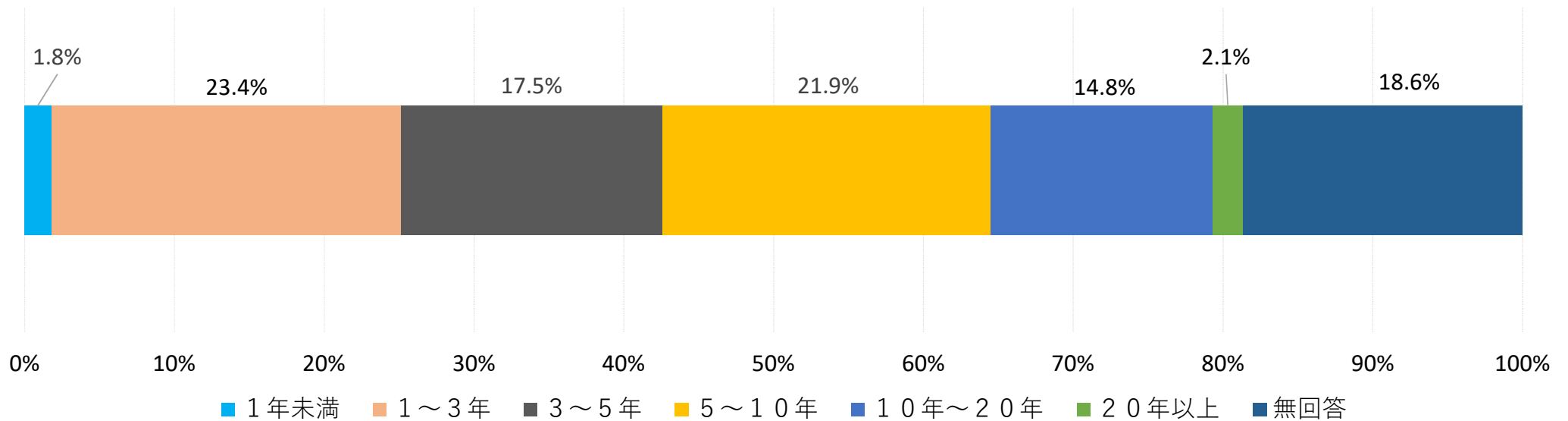


	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 4時間未満	4時間以上 6時間未満	6時間以上 8時間未満	8時間以上	無回答
回答総数（N=338）	2	31	55	46	37	92	75
割合（%）	0.6	9.2	16.3	13.6	10.9	27.2	22.2

## ケアの期間

被介護者（N=338）に対するケアラーによるケアの期間の構成割合をみると、「1～3年」（N=79）が23.4%で最も高く、次いで「5～10年」（N=74）が21.9%、「3～5年」（N=59）が17.5%の順であった。

ケアの期間

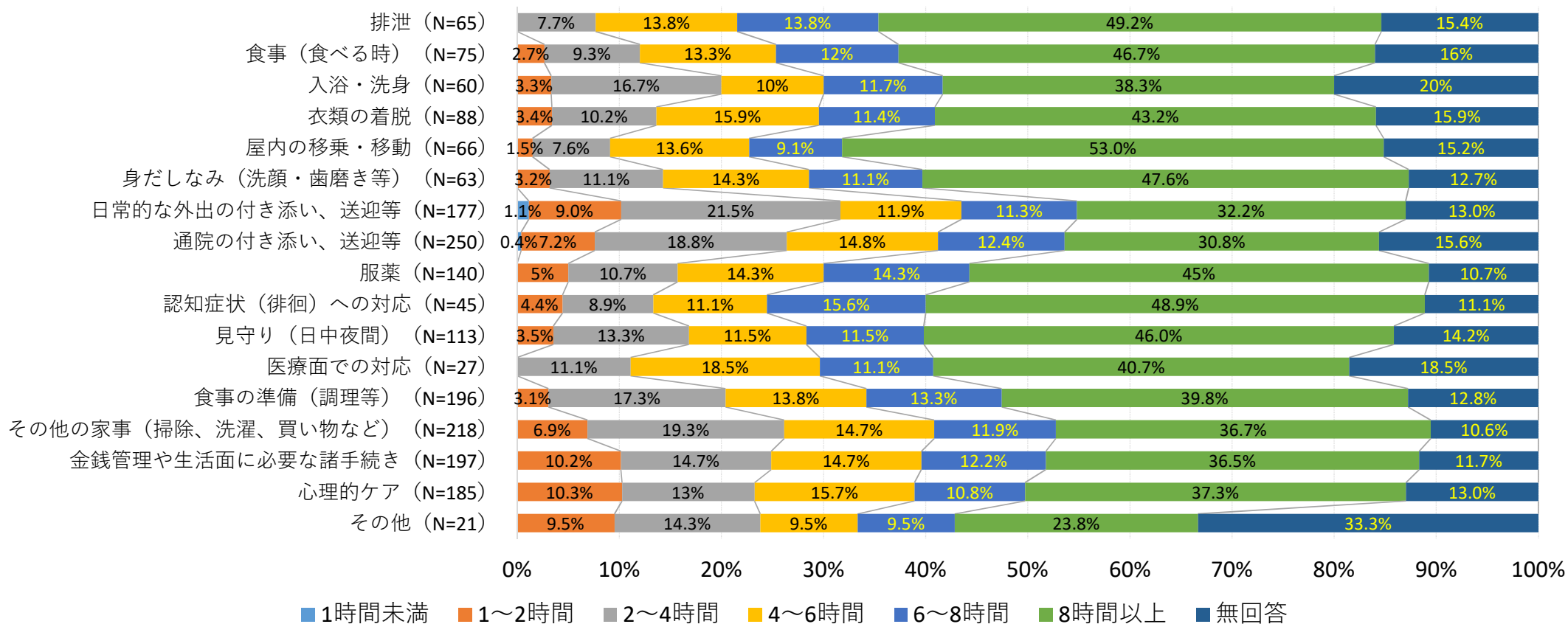


	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10年～20年	20年以上	無回答
回答総数（N=338）	6	79	59	74	50	7	63
割合（%）	1.8	23.4	17.5	21.9	14.8	2.1	18.6

## ケアの内容別にみたケアにかかる時間

ケアの内容別にケアにかかる時間をみると、「屋内の移乗・移動」では「8時間以上」と回答した割合が5割を超えていた。「認知症状への対応」、「服薬」、「排泄」の順に、「6時間以上」と回答する割合が高かった。

ケアの内容別にみたケアにかかる時間



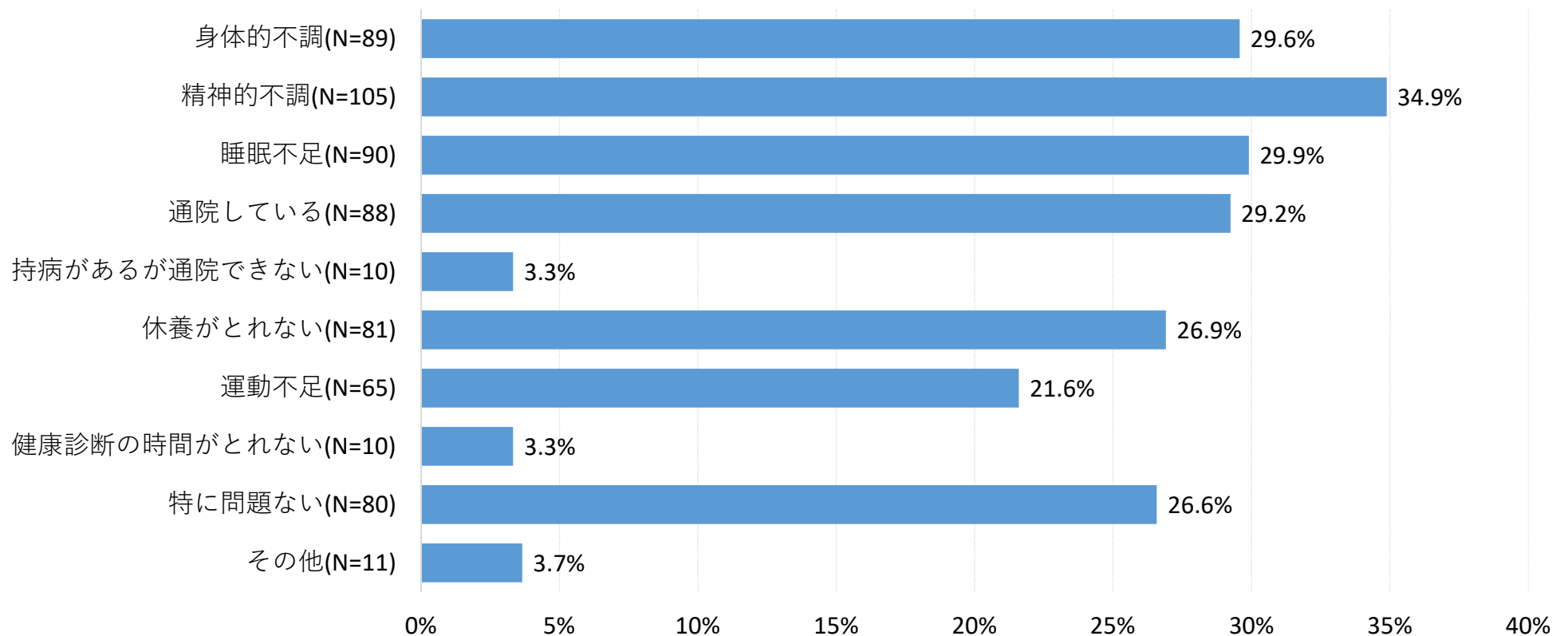
### 3 ケアラー自身へのケアの影響について



## ケアラー本人の健康状態

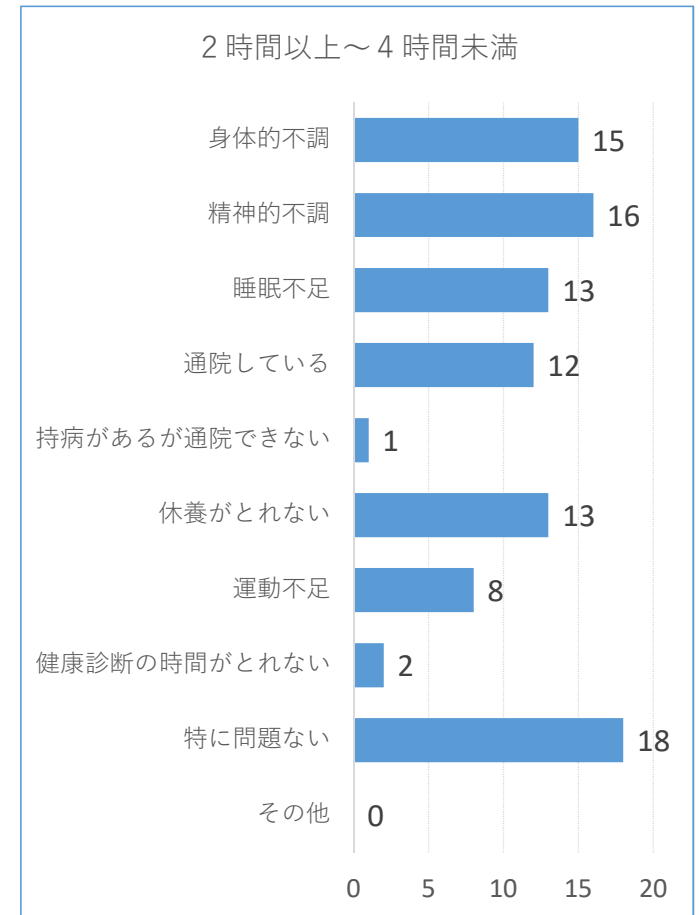
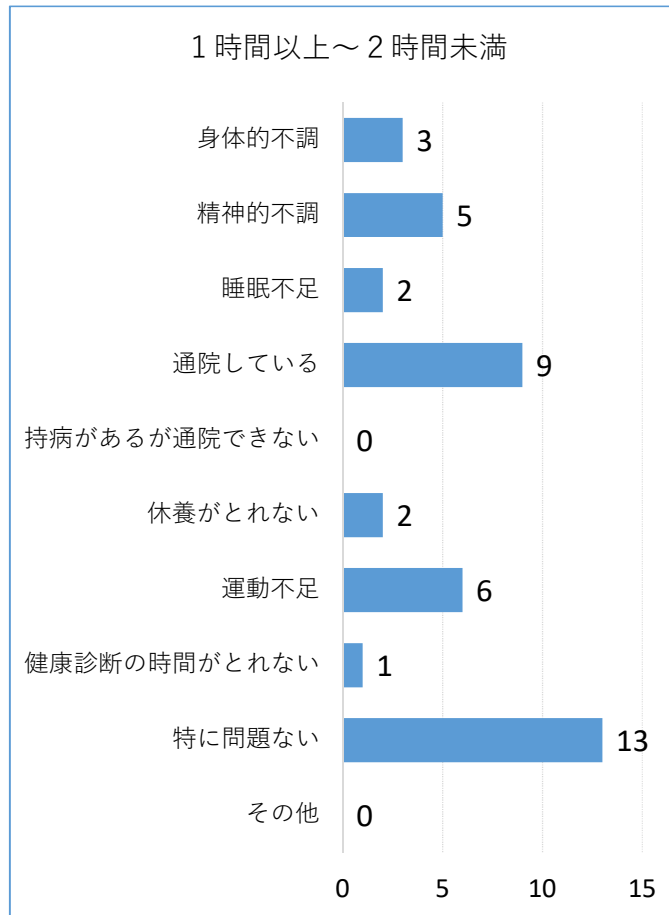
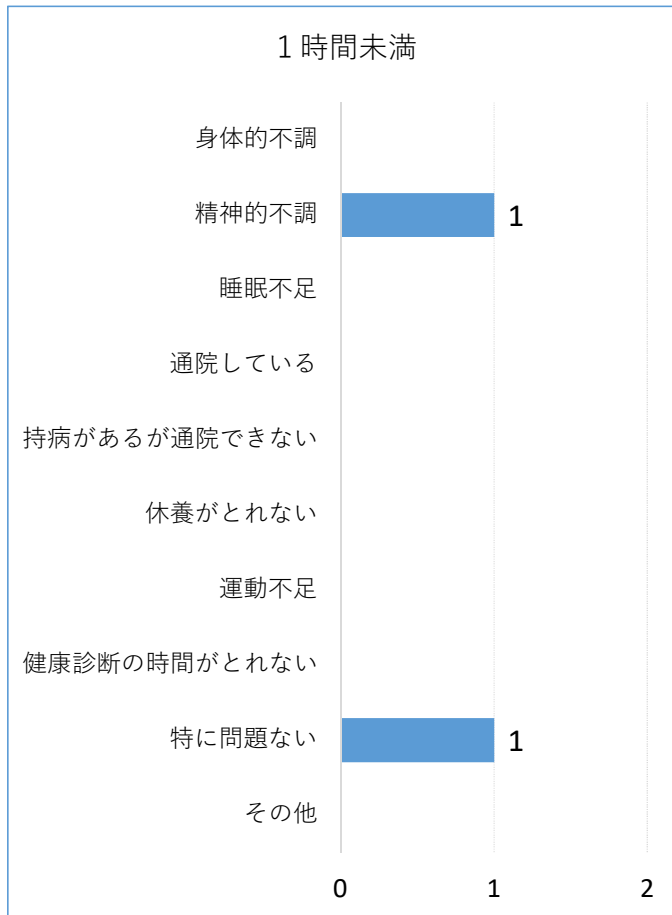
ケアラー本人（N=301）の健康状態について構成をみると、「精神的不調」（N=105）が34.9%で最も高く、次いで「睡眠不足」（N=90）が29.9%、「身体的不調」（N=89）が29.6%の順であった。

ケアラーの健康状態（複数回答可）



## ケアにかける時間別にみた健康状態

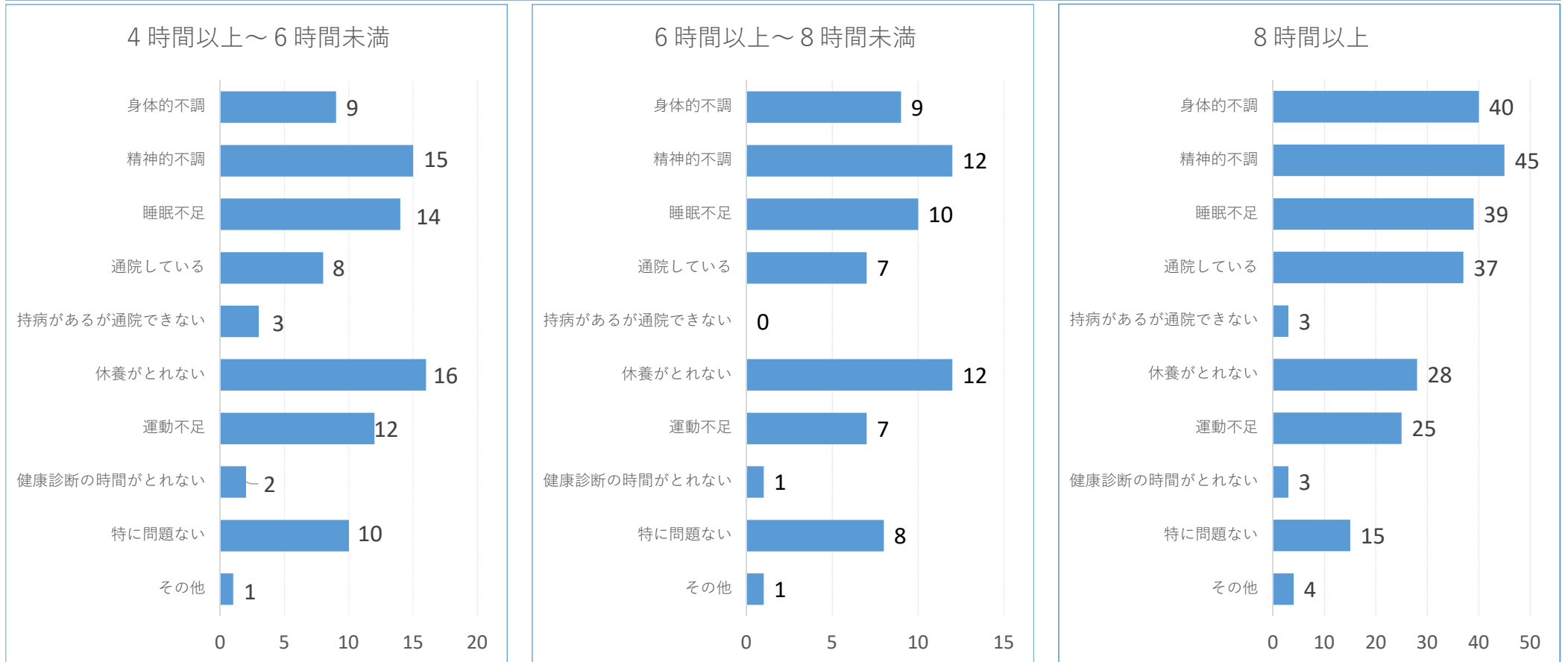
ケアにかける時間別に健康状態をみると、「4時間未満」以下では「特に問題ない」という答えも多くみられた。しかし、ケアにかかる時間が増えるに連れて、健康状態の不調を回答する割合が増加する傾向がみられる。





## ケアにかける時間別にみた健康状態

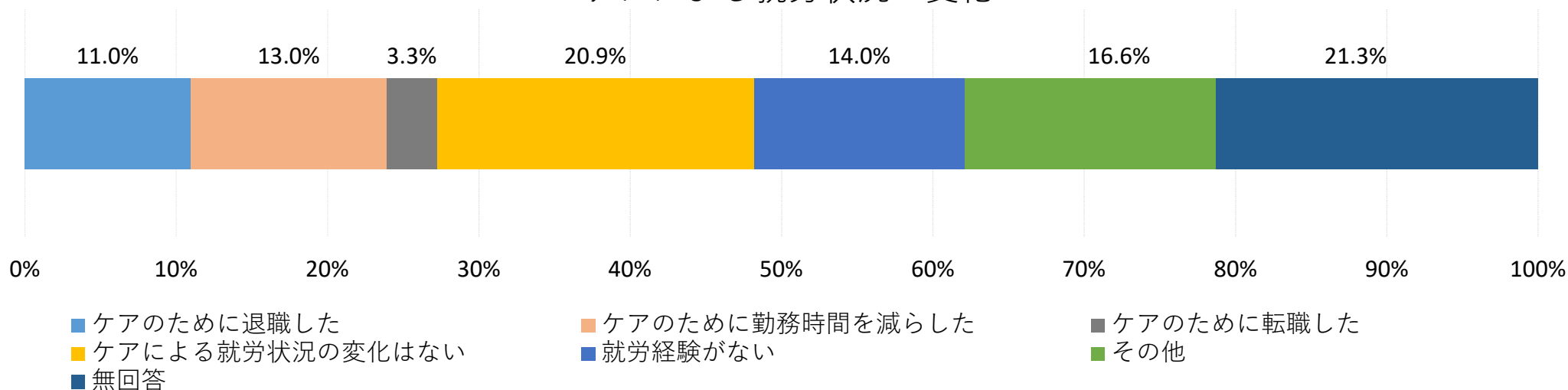
ケアにかける時間が「4時間以上」になると、健康状態の不調を回答する割合が増加する傾向は一層みられ、「特に問題ない」という回答を、健康状態の不調を訴える回答が上回るようになる。特に「精神的不調」と「休養がとれない」という悩みが多くなった。



## ケアによる就労状況の変化

ケアラー（N=301）の就労状況等の構成割合をみると、「ケアによる就労状況の変化はない」（N=63）が20.9%で最も高く、次いで「その他」（N=50）が16.6%、「就労経験がない」（N=42）が14.0%の順であった。

ケアによる就労状況の変化



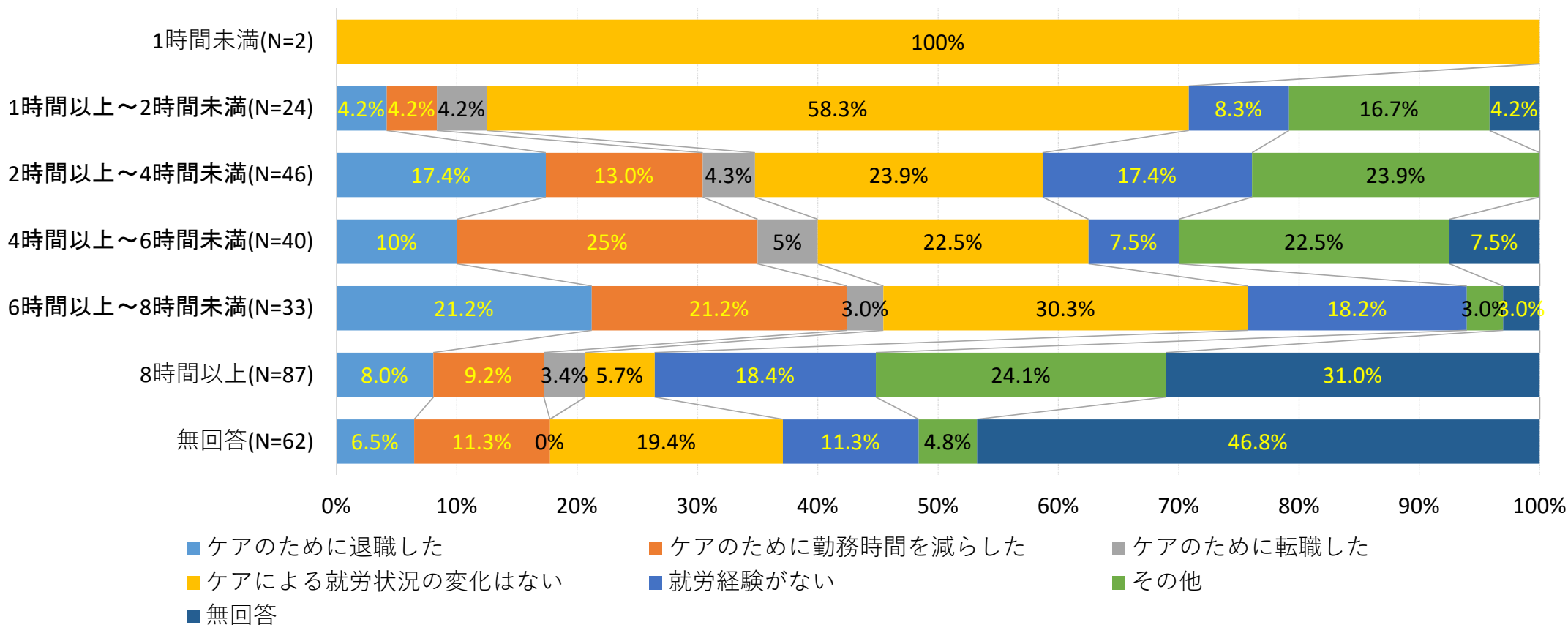
	ケアのために退職した	ケアのために勤務時間を減らした	ケアのために転職した	ケアによる就労状況の変化はない	就労経験がない	その他	無回答
回答総数 (N=301)	33	39	10	63	42	50	64
割合 (%)	11.0	13.0	3.3	20.9	14.0	16.6	21.3

「その他」には、介護を始める時点で退職後であった、仕事仲間・友人からの支援があったなどの回答があった。

## ケアにかける時間別にみたケアによる就労状況の変化

ケアにかける時間別にケアによる就労状況の変化をみると、「ケアのために就労状況に変化があった」と回答したものは、「6時間以上8時間未満」、「4時間以上6時間未満」、「2時間以上4時間未満」の順に多かった。

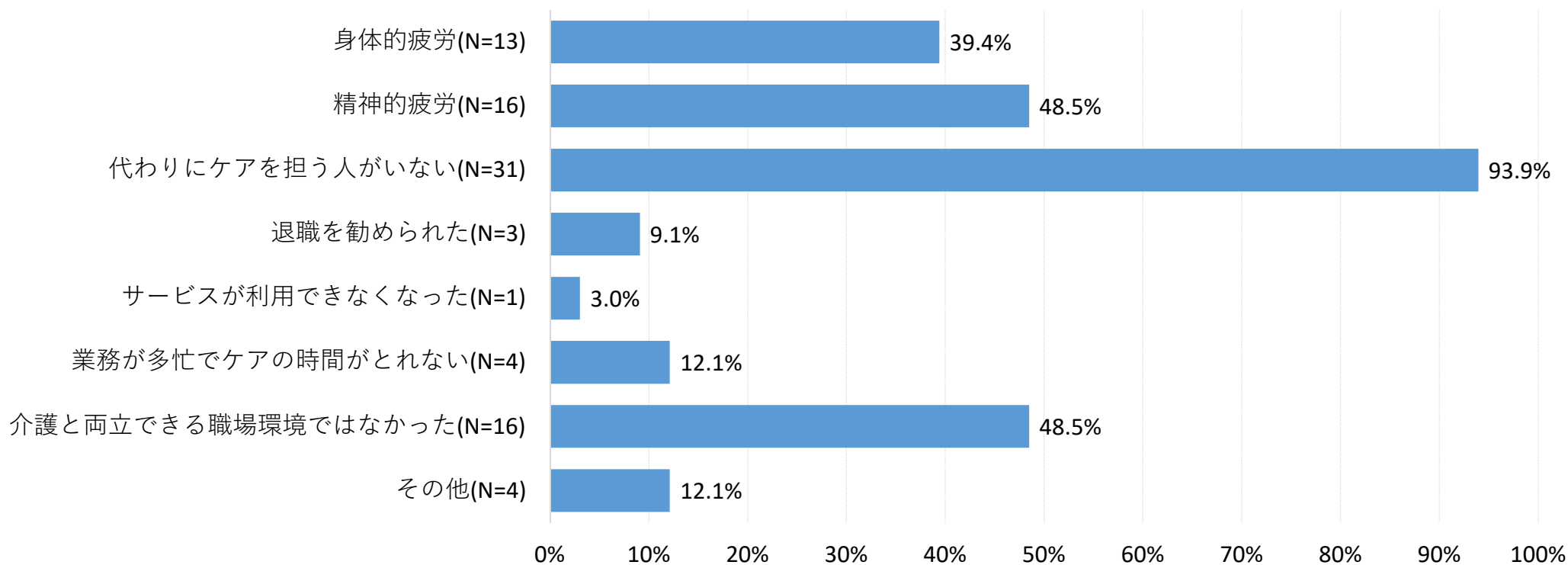
ケアにかける時間別にみたケアによる就労状況の変化



## 退職の理由

ケアのために退職したケアラー（N=33）の退職をした理由（複数回答可）（N=88）について構成割合をみると、「代わりにケアを担う人がいない」（N=31）が93.9%で最も高く、次いで「介護と両立できる環境でなかった」と、「精神的疲労」（N=16）が48.5%、「身体的疲労」（N=13）が39.4%の順であった。

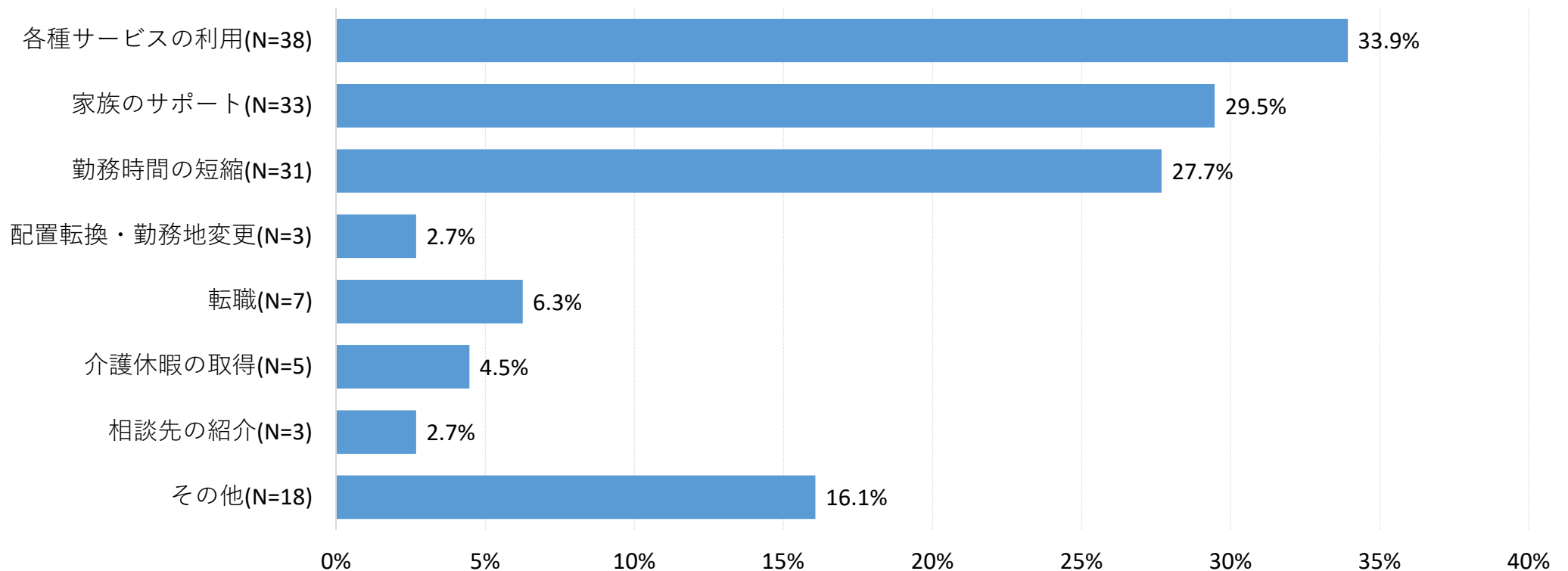
### 退職をした理由（複数回答可）



## 就労を続けられている理由

就労を続けられているケアラー（N=112）の就労を続けられている理由（複数回答可）（N=138）について構成をみると、「各種サービスの利用」（N=38）が33.9%で最も高く、次いで「家族のサポート」（N=33）が29.5%、「勤務時間の短縮」（N=31）が27.7%の順であった。

### 就職を続けられている理由（複数回答可）



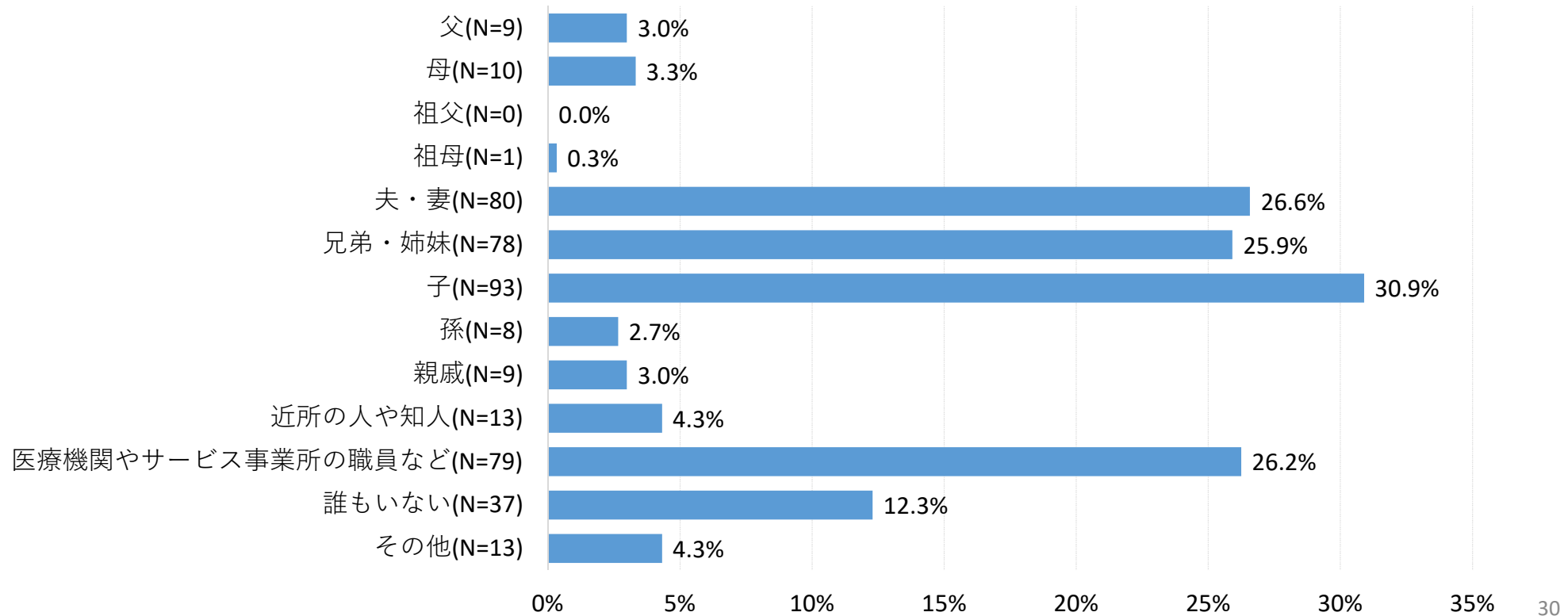
## 4 ケアに関する相談について



## ケアに協力してくれる人

ケアラー（N=301）から見て、ケアに協力してくれる人について構成割合をみると、「子」（N=93）が30.9%で最も高く、次いで「夫・妻」（N=80）が26.6%、「医療機関やサービス事業所の職員など」（N=79）が26.2%、「兄弟・姉妹」（N=78）が25.9%の順であった。

ケアに協力してくれる人（複数回答可）

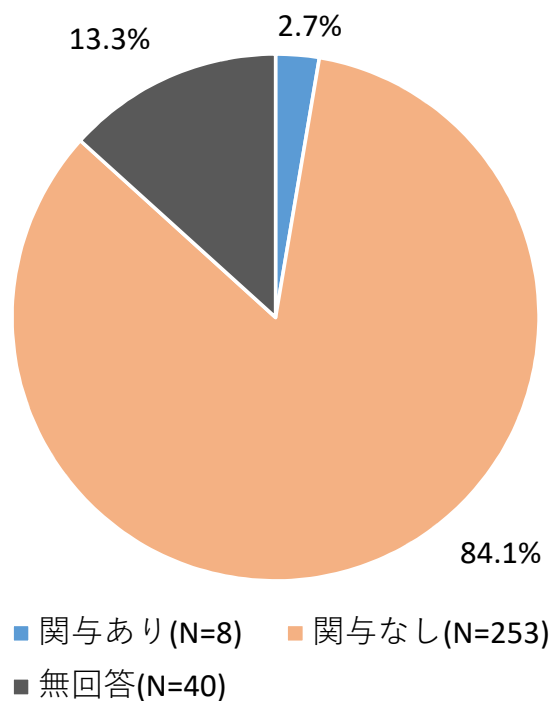


## 18歳未満のケアへの関与

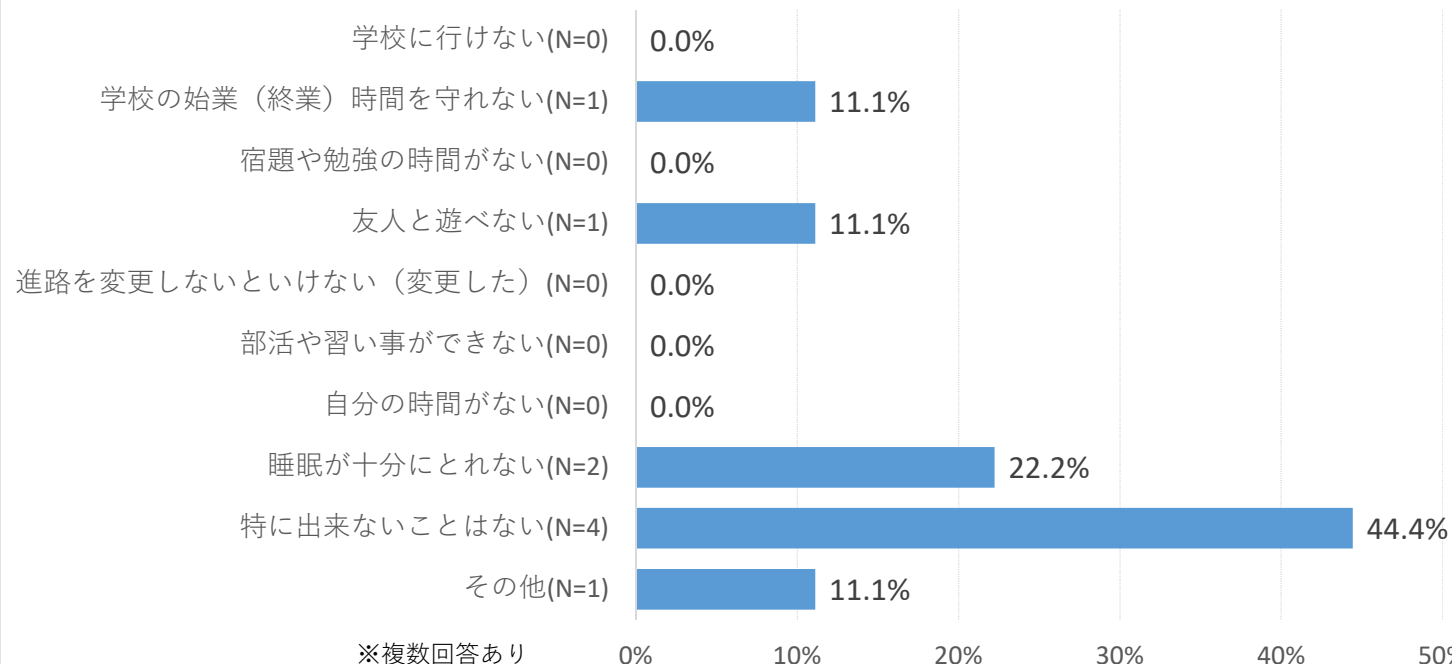
ケアラー（N=301）から見て、18歳未満のケアへの関与を確認すると、「関与あり」（N=8）が2.7%、「関与なし」（N=253）が84.1%、「無回答」（N=40）13.3%であった。

また、ケアに関わっている18歳未満の方が、ケアのために出来ないこと（N=9）を確認すると、「特にできないことはない」（N=4）が44.4%で最も高く、次いで「睡眠が十分にとれない」（N=2）が22.2%、「学校の始業（終業）時間を守れない」と「友人と遊べない」と「その他」が（N=1）11.1%であった。

18歳未満のケアへの関与



ケアに関わっている18歳未満の方が、ケアのために出来ないこと

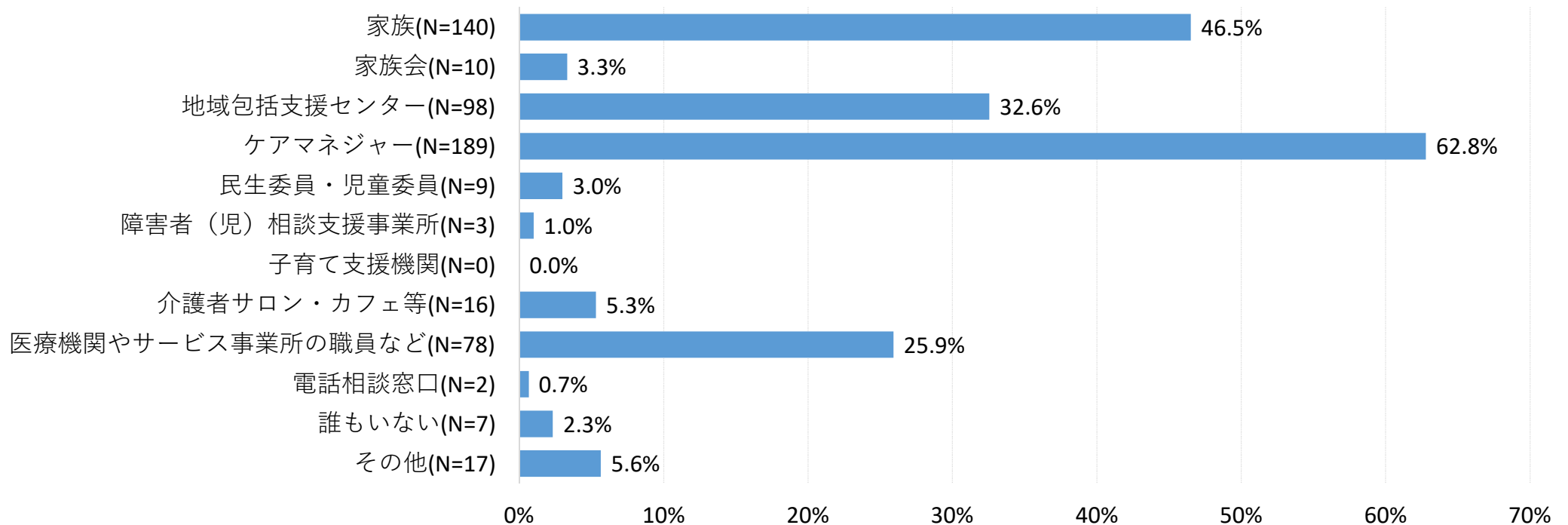




## ケアラーが信頼して相談できる人や窓口・機関

ケアラー（N=301）が信頼して相談できる人や窓口・機関（複数回答）（N=569）をみると、「ケアマネジャー」（N=189）が62.8%で最も高く、次いで「家族」（N=140）が46.5%、「地域包括支援センター」（N=98）が32.6%の順であった。

信頼して相談できる人や窓口・機関（複数回答可）



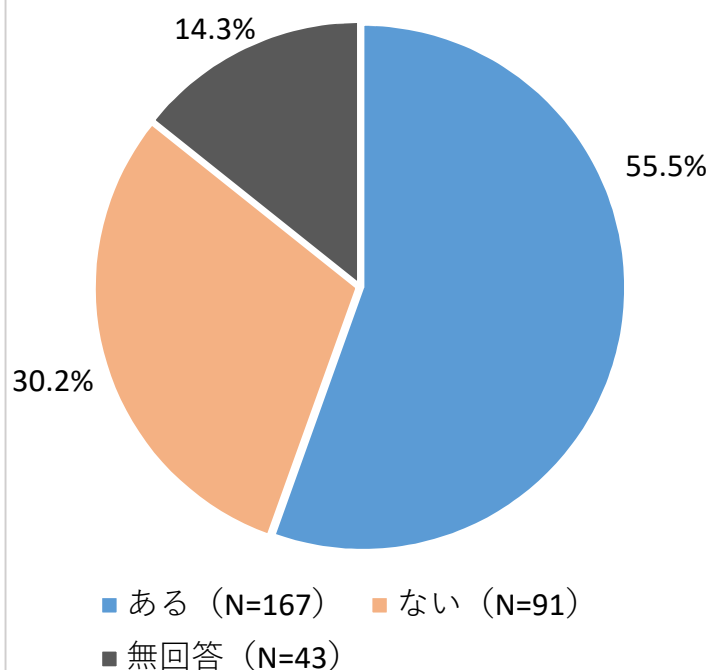
「その他」には、友人、有料ボランティア、近所の方などの回答があった。

## ケアを原因とする生活や人生に関する悩み

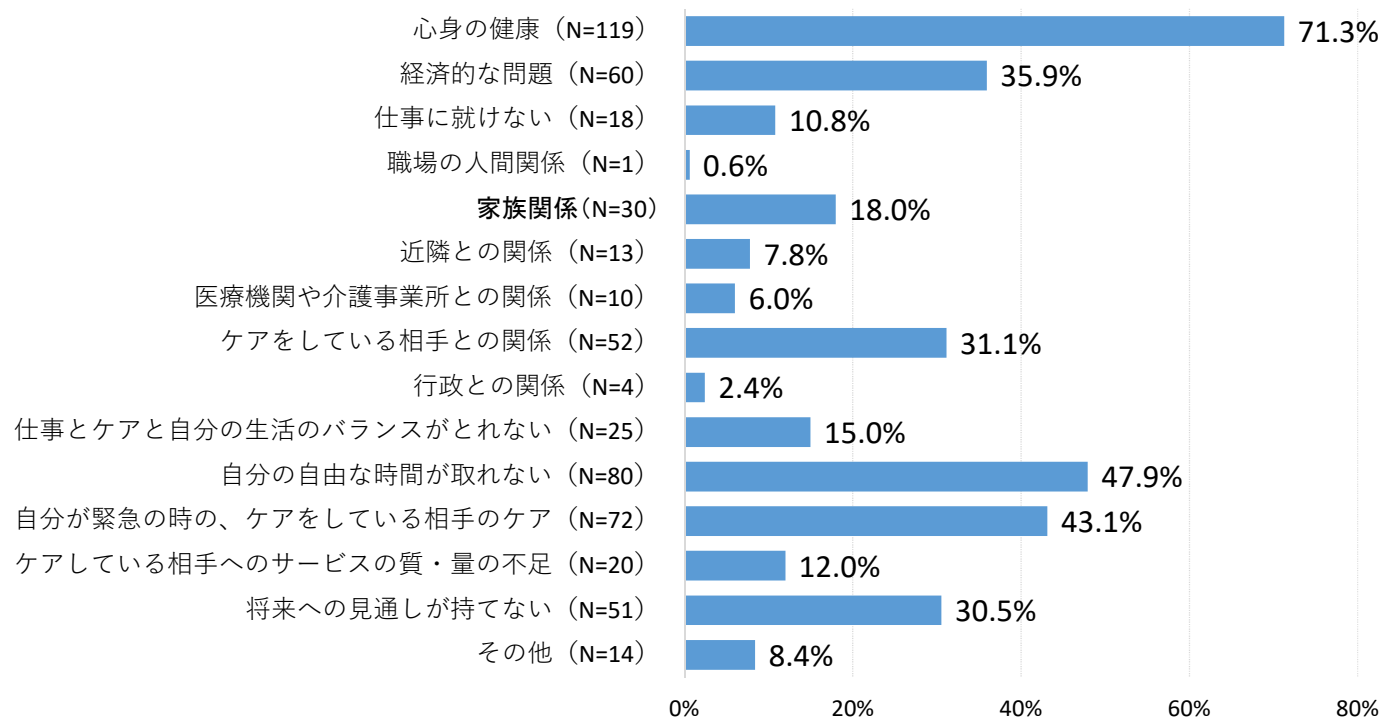
ケアラー（N=301）の、ケアを原因とする生活や人生に関する悩みを確認すると、「ある」（N=167）が55.5%、「ない」（N=91）が30.2%、「無回答」（N=43）14.3%であった。

また、悩みがあるケアラー（N=167）の悩み（複数回答可）について確認すると（N=569）、「心身の健康」（N=119）が71.3%で最も高く、次いで「自分の自由な時間が取れない」（N=80）が47.9%、「自分が緊急の時の、ケアをしている相手のケア」（N=72）が43.1%であった。

ケアが原因で、生活や人生について悩みがあるか（N=301）



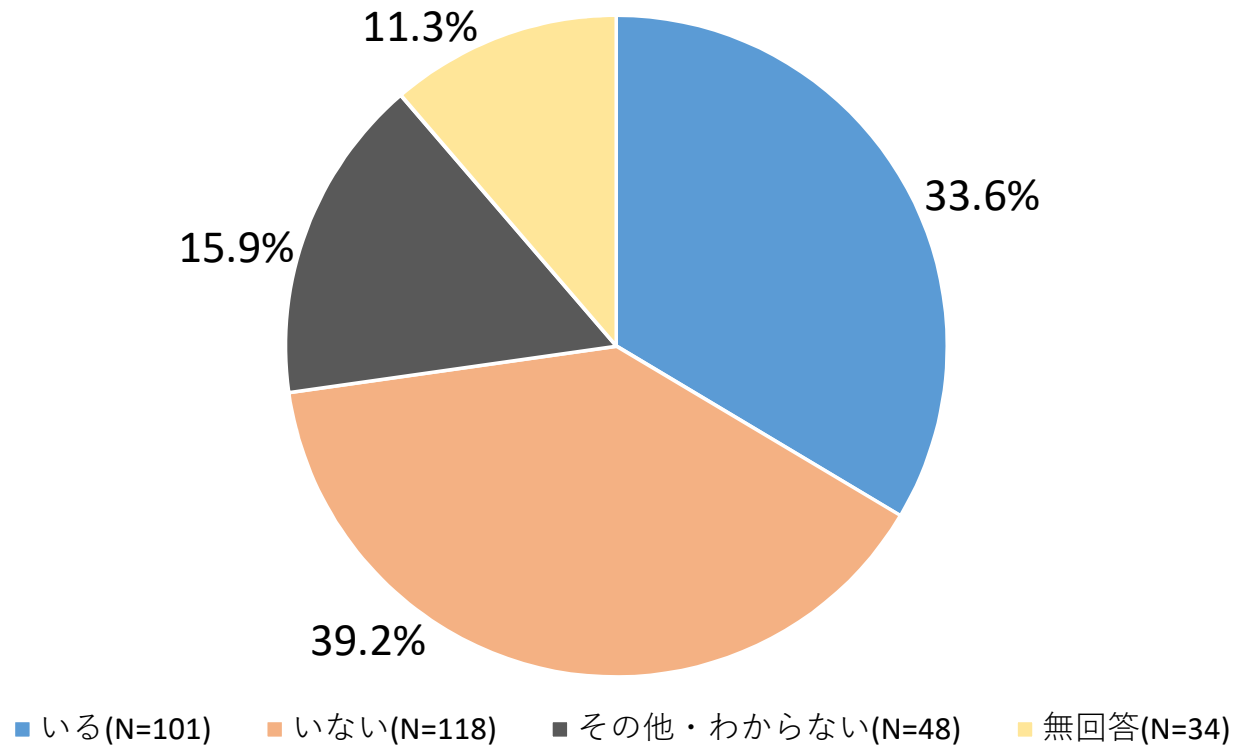
ケアを原因とする生活や人生に関する悩み（複数回答可）



## もしもの場合、あなたに代わってケアを担ってくれる人

ケアラー（N=301）に対し、もしもの場合、代わりにケアを担ってくれる人を見ると、「いない」（N=118）が39.2%で最も高く、次いで「いる」（N=101）が33.6%、「その他・わからない」（N=48）が15.9%、「無回答」（N=34）が11.3%であった。

もしもの場合にあなたに代わってケアを担ってくれる人（N=301）



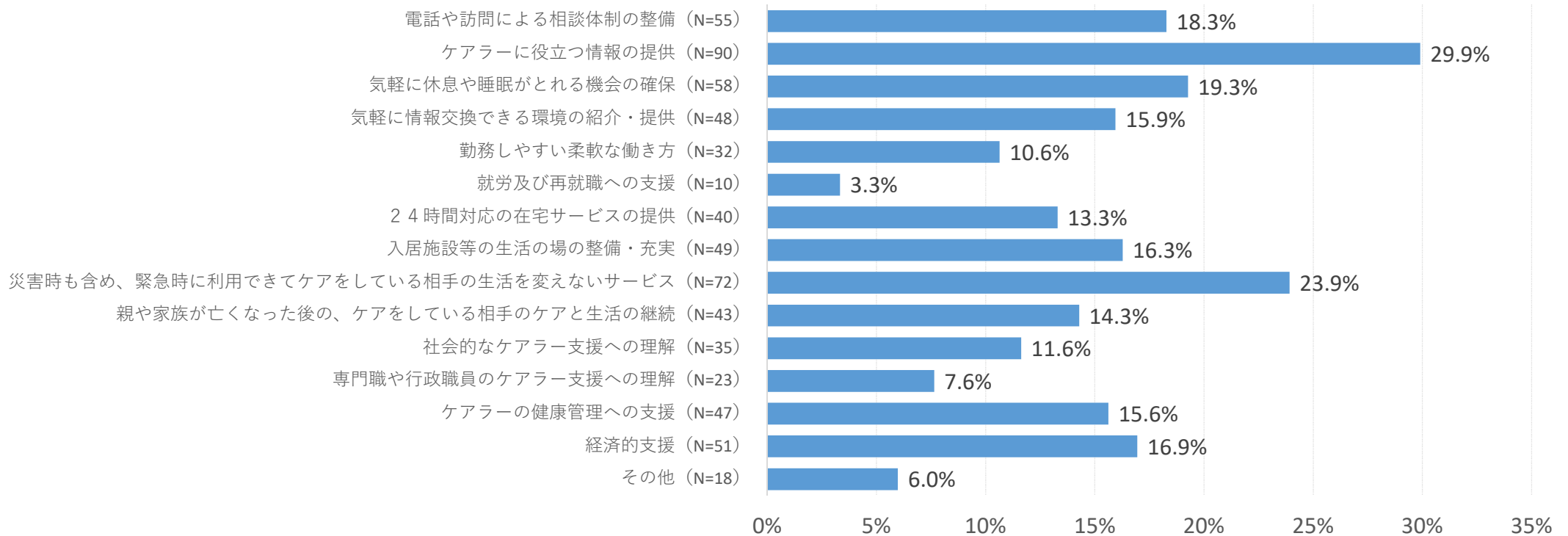
## 5 ケアラー自身が求める支援について



## ケアラー自身に必要と思われる支援

ケアラー自身（N=301）に必要な支援について（複数回答可）（N=671）をみると、「ケアラーに役立つ情報の提供」（N=90）が29.9%で最も高く、次いで「災害時も含め、緊急時に利用できてケアをしている相手の生活を変えないサービス」（N=72）が23.9%、「気軽に休息や睡眠がとれる機会の確保」（N=58）が19.3%の順であった。

### ケアラー自身に必要と思われる支援（複数回答可）

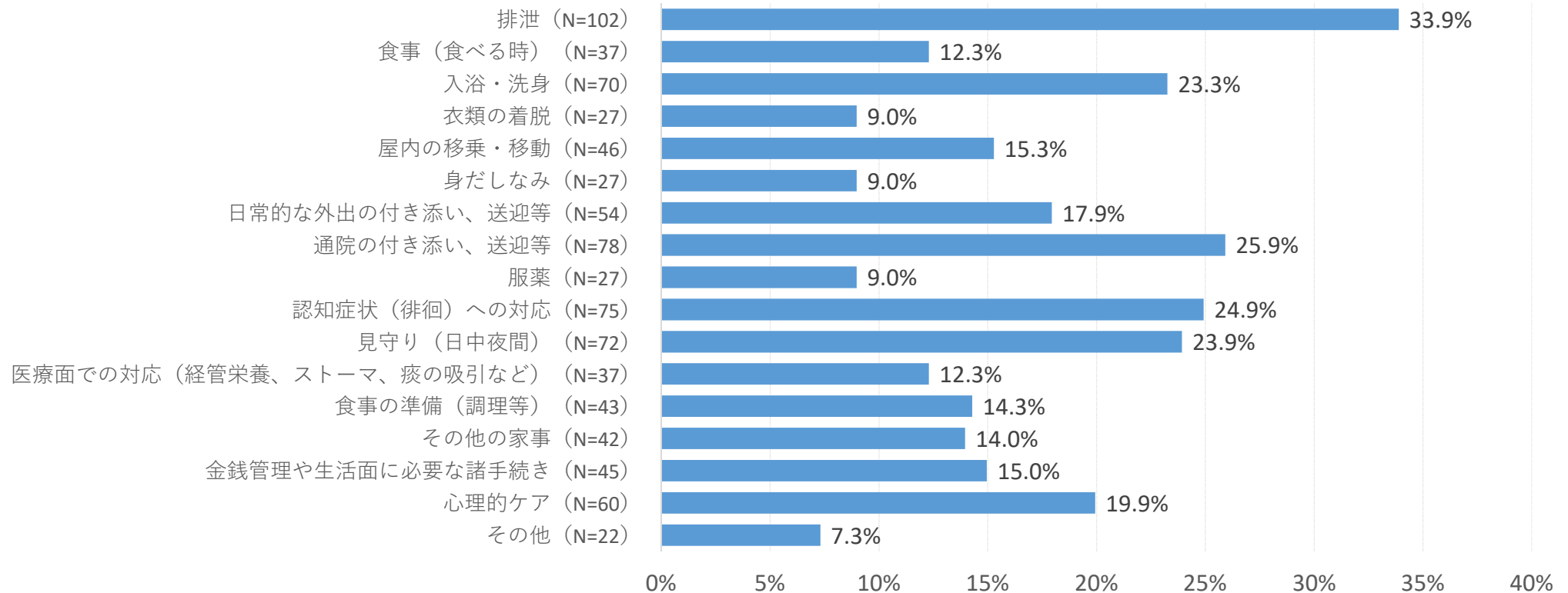


「その他」には、「デイサービスが休みの土日に助けてくれる人・物」、「本人がサービス拒否するときの説得」などの回答があった。

## 現在の生活を継続していくにあたり、不安に感じること

ケアラー自身（N=301）が、現在の生活を継続していくにあたり、不安に感じること（複数回答可）（N=864）をみると、「排泄」（N=102）が33.9%で最も高く、次いで「通院の付き添い、送迎等」（N=78）が25.9%、「認知症状（徘徊）への対応」（N=75）が24.9%の順であった。

現在の生活を継続していくにあたり、不安に感じること（複数回答可）



「その他」には、「経済的に不安」、「自身の健康、体力が保てるか」、「緊急時預かって対応してくれるところ」などの回答があった。

## 主な意見

### 【介護者本人が希望する支援や要望】

- 気軽に今の不安や辛いことを話せる場があって、そこでアドバイスがもらえたら嬉しい。
- 自分自身の時間が欲しい。
- ケアラーからのSOSを定期的に受けとめ手助けするシステム。
- ケアラーにとっての悩みや相談を聴いてくれる人の訪問。（自分から相談にはなかなか行けない。）
- 介護の右も左もわからないので、初歩的なことを教えてもらう機会。
- 男性の家事に関する支援としての家事教室（料理、家の清掃、洗濯など）。

### 【被介護者に対して希望する支援や要望】

- 通院同行が一番時間がかかり、安く代行してくれるサービス。
- 栄養相談。
- 週に2～3回の食事支援。
- 急に用事ができたときに短時間代わってくれる人材。
- 通院時間がかなり長いので、移動だけでも（ベッドや車イス）サポートがあると助かる。

### 【その他】

- 緊急時の預かり先（宿泊施設）等の充実。
- マスクや衛生用品の優先販売（買い物に行けない）。

\* 記載内容は、表記の統一等を行っています。